

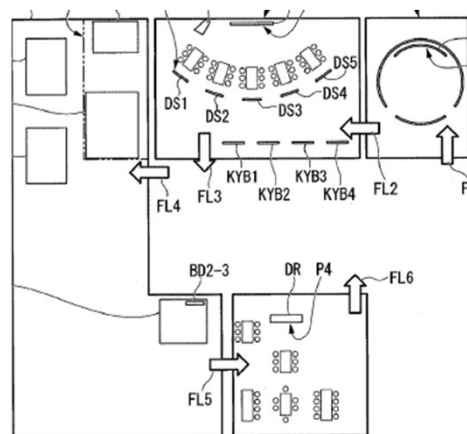
名称	体感・体験・体得を統合した安全研修設備 ～災害を『知る』から災害を『体感する』へ～ 特許第7013671号 研修及び研修設備	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	従来の安全研修では、座学中心で現場の危険を実感しにくく、研修内容と実際の作業現場との間に乖離が生じる課題があった。本発明は、導入・体感・体験・体得の4段階で災害事例の学習と疑似体験を連携させることで、災害を自分事として理解させ、効果的な安全教育を実現することを目的とする。		
導入のメリット	座学による知識習得だけでなく、災害事例の討議や体験設備を活用した実践的な学習を組み合わせることで、危険察知力や災害回避能力を効果的に向上できる。また、受講者の所属部門や職制に応じて研修内容を最適化できるため、現場に即した高い教育効果が期待できる。		
アピール内容	「知る→考える→体験する→行動につなげる」の一連の流れを施設内で完結できる安全研修システム。災害事例のグループ討議、意見共有、災害体験設備による疑似体験、振り返りまでを体系化することで、受講者の記憶に残りやすく、行動変容につながる実践的な安全教育を実現する。		

体感・体験・体得を統合した安全研修設備

災害を『知る』から災害を『体感する』へ（特許第7013671号）

■ 技術概要

- 導入→体感→体験→体得の4段階構成で研修を実施。
- 災害を自分事として認識させ、危険察知力と安全意識を向上。
- グループ討議と体験設備により学習効果を最大化。
- 振り返り学習で、危険回避行動を現場に定着させる。



■ 現場課題

- 座学だけでは記憶に残りにくい。
- 研修内容と現場との乖離がある。
- 危険を自分事として認識しにくい。

■ 解決手段（技術の特徴）

- 災害を自分事として認識
- グループ討議機能（小表示面で意見収集）
- 災害体験設備と連携（学びを実体験へ）
- 振り返り学習で行動定着

■ 想定適用先・市場

- 電力会社
- プラント事業者
- 製造業
- 建設会社

→インフラ企業や設備産業の安全研修市場

■ 活用イメージ

- 危険体感施設
- 体感研修環境
- 墜落体験設備
- 安全風土醸成

→ 体感を通じた教育のツール

■ パートナー企業

- 安全教育事業者
- VR教育事業者
- 建設会社
- 研修施設運営会社

『体感→体験→体得』の連鎖により、危険回避行動を現場に定着させる安全研修設備。